

7. 情報化について

7-1. 情報機器やメディアの利用度

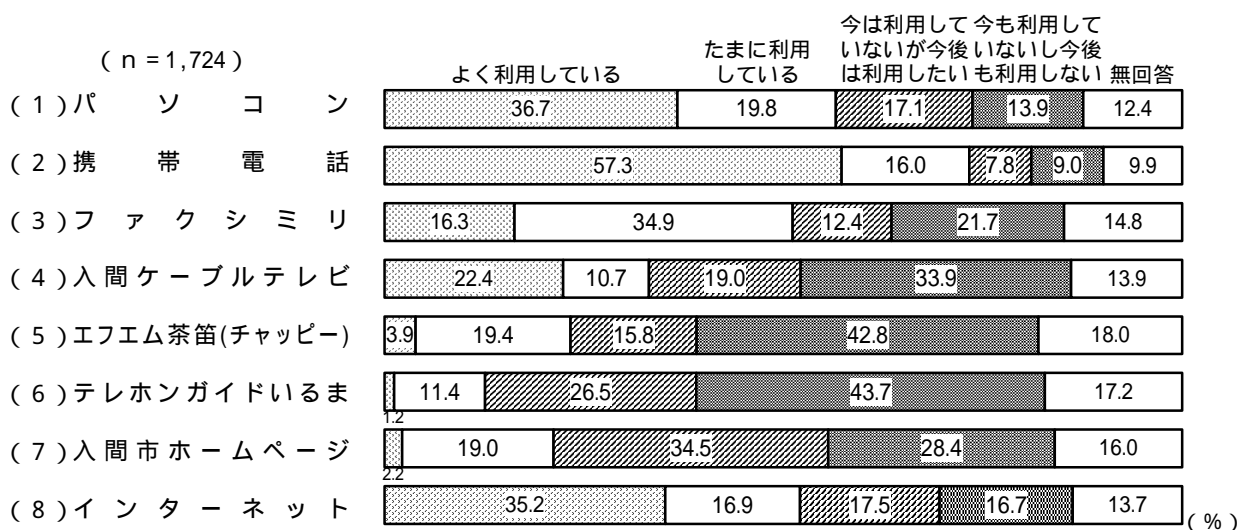
携帯電話をよく利用している人は6割近く、パソコン、インターネットでは3割半ば

問19 あなたは、次にあげる情報機器やメディアを利用されていますか。それぞれの項目について1つずつ選んでください。(n=1,724)

(%)	よく利用している	たまに利用している	今は利用していませんが 今後は利用したい	今も利用していませんし 今後もしない	(無回答)
(1) パソコン	36.7	19.8	17.1	13.9	12.4
(2) 携帯電話	57.3	16.0	7.8	9.0	9.9
(3) ファクシミリ	16.3	34.9	12.4	21.7	14.8
(4) 入間ケーブルテレビ	22.4	10.7	19.0	33.9	13.9
(5) エフエム茶笛(チャッピー)	3.9	19.4	15.8	42.8	18.0
(6) テレホンガイドいるま	1.2	11.4	26.5	43.7	17.2
(7) 入間市ホームページ	2.2	19.0	34.5	28.4	16.0
(8) インターネット	35.2	16.9	17.5	16.7	13.7

情報機器やメディアの利用度について聞いたところ、「よく利用している」が最も多いのは携帯電話(57.3%)で6割近くに達し、次いでパソコン(36.7%)、インターネット(35.2%)、入間ケーブルテレビ(22.4%)、ファクシミリ(16.3%)などの順となっている。これに「たまに利用している」を加えた『利用している(計)』では、携帯電話(73.3%)で7割を超えている。次いでパソコン(56.5%)、インターネット(52.1%)、ファクシミリ(51.2%)、入間ケーブルテレビ(33.1%)などの順となっている。(図7-1-1)

図7-1-1 情報機器やメディアの利用度



(1) パソコン / 属性分析 (図 7 - 1 - 2)

【性別】「よく利用している」は男性の方が 16 ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「よく利用している」は男性の 20 代から 50 代、女性の 20 代と 30 代で 5 割を超えて多くなっている。『利用している (計) 』でみると、男女とも 20 代ではほぼ 9 割、男性の 30 代から 50 代と女性 30 代では 8 割近く、女性 40 代では 7 割近くに達している。

【居住地区別】地区による大きな差はみられない。

【職業別】『利用している (計) 』は、学生 (95.7%) ではほぼ全員、勤めている人 (71.4%) では 7 割を超えている。自営している (45.8%) 、主婦 (家事専業) (41.1%) でも 4 割を超えている。

(2) 携帯電話 / 属性分析 (図 7 - 1 - 3)

【性別】男女ともほぼ同じ傾向になっている。

【性・年齢別】「よく利用している」は男女とも 20 代から 40 代で 7 割を超え、20 代では 9 割前後を占めている。『利用している (計) 』でみると、男女とも 20 代から 40 代で 9 割を超えており、50 代でも 8 割前後を占めている。

【居住地区別】地区による大きな差はみられない。

【職業別】『利用している (計) 』は、学生 (97.9%) ではほぼ全員、勤めている人 (85.6%) では 8 割半ばを占めている。自営している (76.3%) で 7 割半ば、主婦 (家事専業) (65.0%) でも 6 割半ばを占めている。

(3) ファクシミリ / 属性分析 (図 7 - 1 - 4)

【性別】男女ともほぼ同じ傾向になっている。

【性・年齢別】「よく利用している」は男性 40 代から 60 代と女性 50 代で 2 割を超えている。『利用している (計) 』でみると、男女とも 40 代で 7 割を超えている。

【居住地区別】地区による大きな差はみられない。

【職業別】『利用している (計) 』は、自営している (67.1%) では 7 割近くを占め、勤めている (59.3%) ではほぼ 6 割を占めている。

(4) 人間ケーブルテレビ / 属性分析 (図 7 - 1 - 5)

【性別】「よく利用している」は男性の方が 10 ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「よく利用している」は男性 50 代 (33.7%) で 3 割を超えている。『利用している (計) 』でみると、男女とも 20 代と 50 代で、他の世代に比べ割合が高くなっている。

【居住地区別】金子地区では「よく利用している」 (30.7%) がほぼ 3 割、『利用している (計) 』 (49.6%) は 5 割で、他の地区に比べ高くなっている。

【職業別】職業による大きな差はみられない。

(5) エフエム茶笛 (チャッピー) / 属性分析 (図 7 - 1 - 6)

【性別】男女ともほぼ同じ傾向になっている。

【性・年齢別】『利用している (計) 』でみると、男性 40 代と 50 代で 4 割近く、男性 30 代と女性 40 代で 3 割前後に達している。

【居住地区別】『利用している (計) 』は東金子地区 (34.2%) で 3 割半ばを占め、他の地区に比べてやや多くなっている。

【職業別】職業による大きな差はみられない。

(6) テレホンガイドいるま / 属性分析 (図 7 - 1 - 7)

【性別】男女ともほぼ同じ傾向になっている。

【性・年齢別】『利用している (計) 』でみると、女性 50 代 (20.7%) でほぼ 2 割、男性 40 代・50 代と女性 60 代で 1 割半ばを占め、他の世代に比べやや多くなっている。

【居住地区別】地区による大きな差はみられない。

【職業別】学生では、『利用している (計) 』 (2.1%) はわずかで、「今も利用していないし今後とも利用しない」 (63.8%) は 6 割を超えて多くなっているが、それ以外の職業間では、大きな差はみられない。

(7) 入間市ホームページ / 属性分析 (図 7 - 1 - 8)

【性別】『利用している (計) 』は男性の方が 8 ポイント高くなっている。

【性・年齢別】『利用している (計) 』でみると、男性の 30 代から 50 代と女性 30 代で 3 割前後を占めている。

【居住地区別】地区による大きな差はみられない。

【職業別】職業による大きな差はみられない。

(8) インターネット / 属性分析 (図 7 - 1 - 9)

【性別】「よく利用している」は男性の方が 12 ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「よく利用している」は男性の 20 代から 50 代、女性の 20 代と 30 代で 5 割を超えている。『利用している (計) 』でみると、男女とも 20 代で 8 割半ばを占め、男性 30 代・40 代と女性 30 代で 7 割を超えている。

【居住地区別】地区による大きな差はみられない。

【職業別】『利用している (計) 』は学生 (93.6%) で 9 割、勤めている (66.2%) で 6 割半ばを占めている。自営している (39.7%) と主婦 (家事専業) (39.4%) でもほぼ 4 割である。

図7-1-2 情報機器やメディアの利用度(1)パソコン-属性別

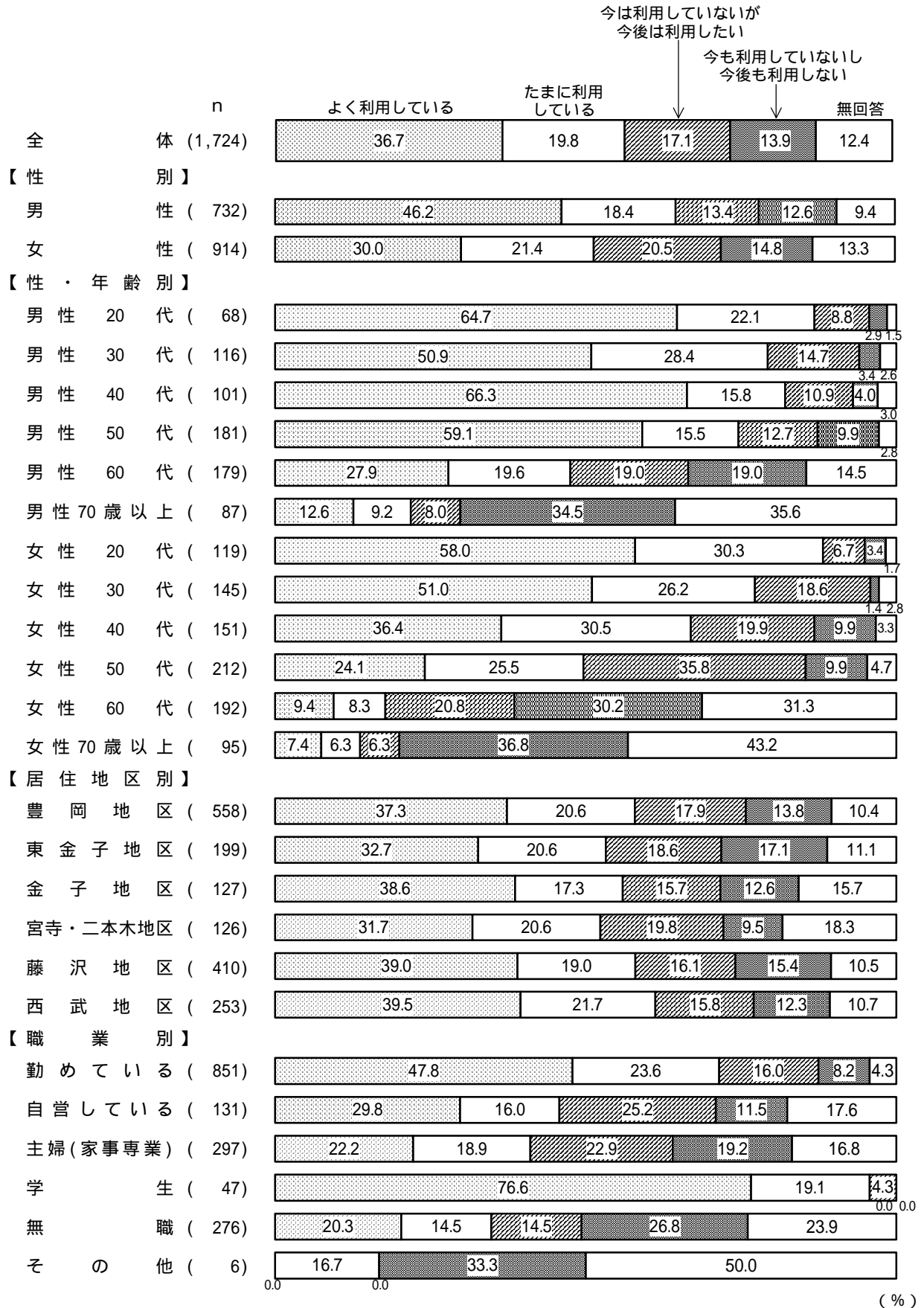


図7-1-3 情報機器やメディアの利用度(2) 携帯電話 - 属性別

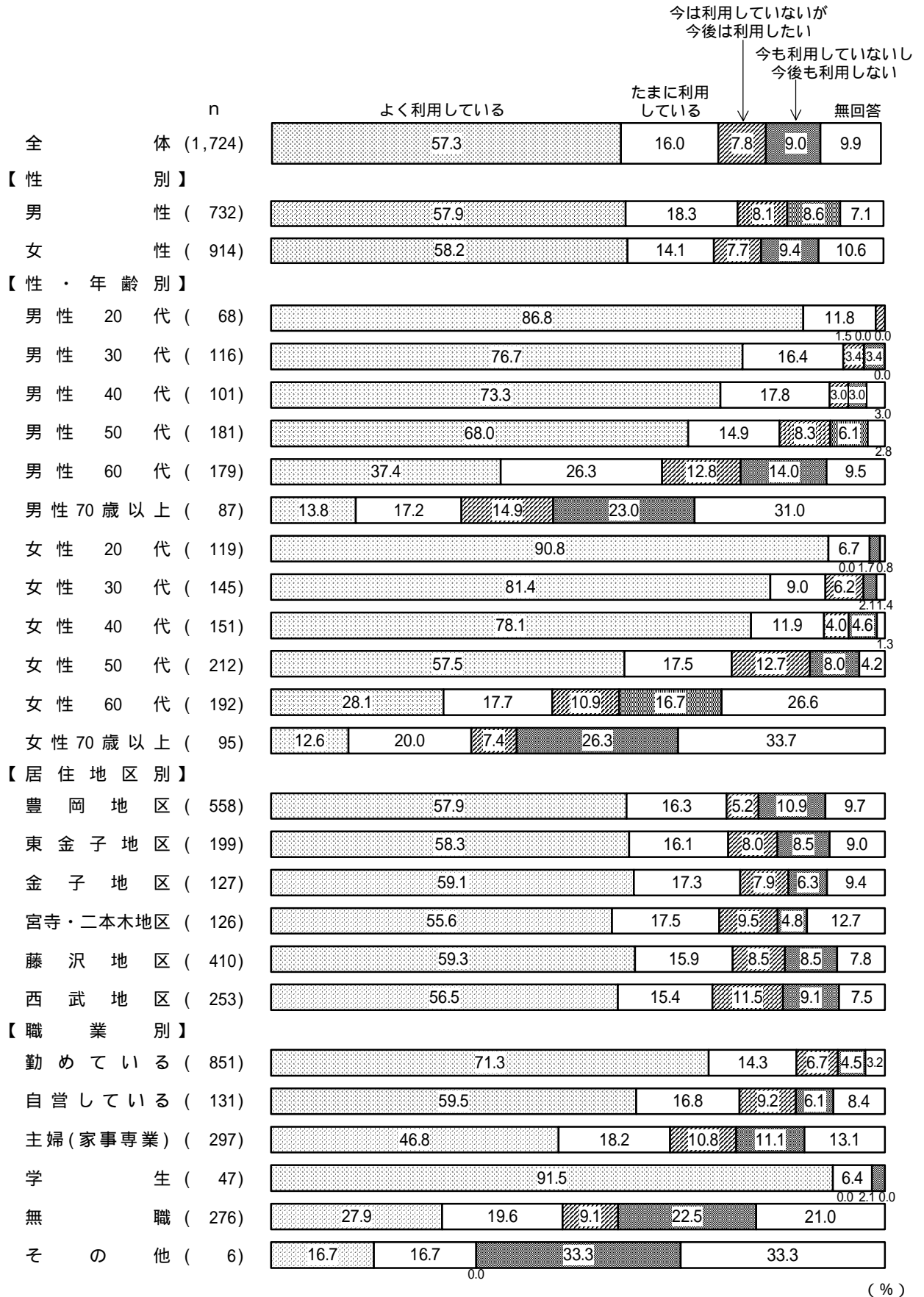


図7-1-4 情報機器やメディアの利用度(3)ファクシミリ-属性別

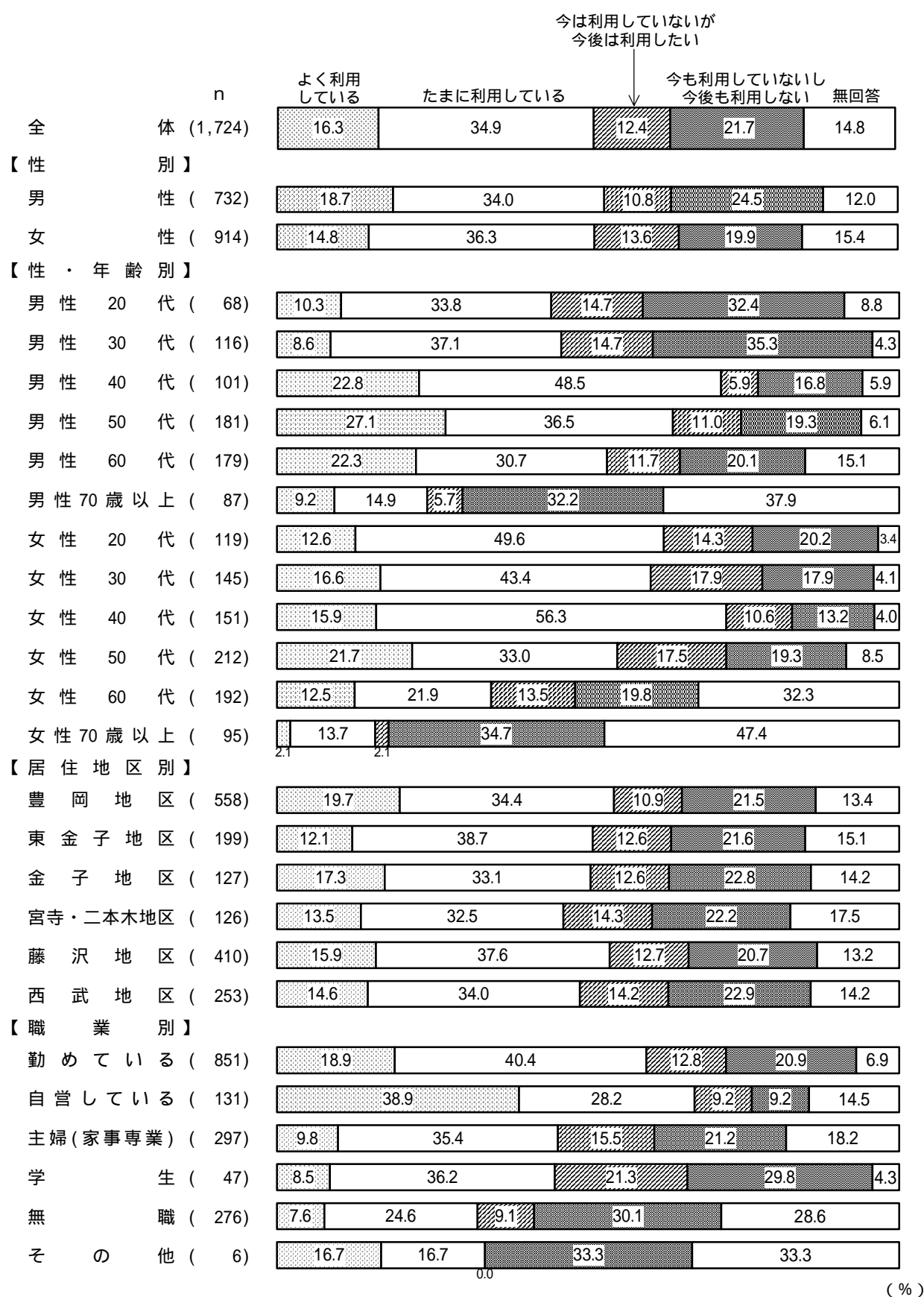


図7-1-5 情報機器やメディアの利用度(4) 人間ケーブルテレビ - 属性別

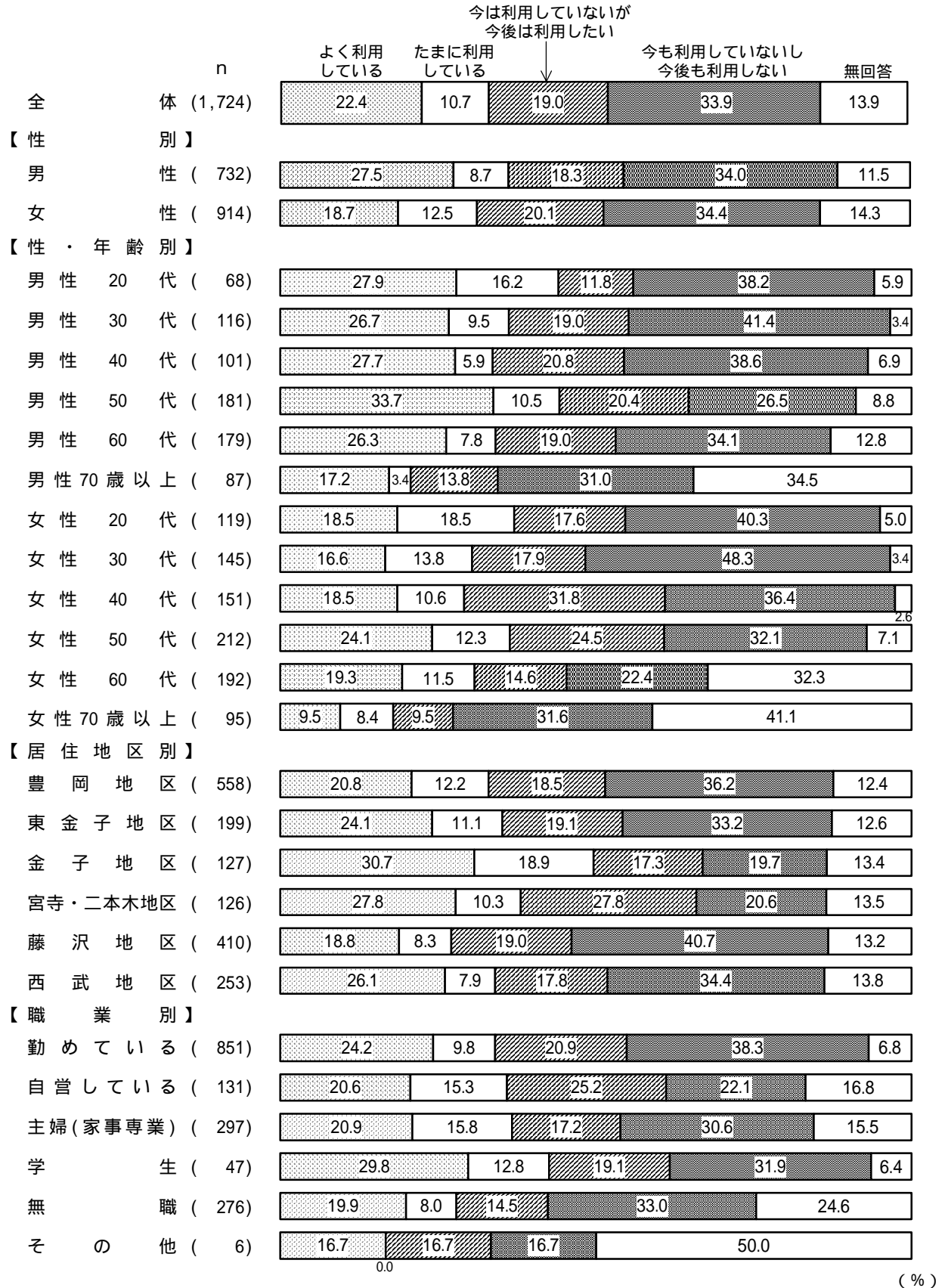


図7-1-6 情報機器やメディアの利用度(5) エフエム茶笛(チャッピー) - 属性別

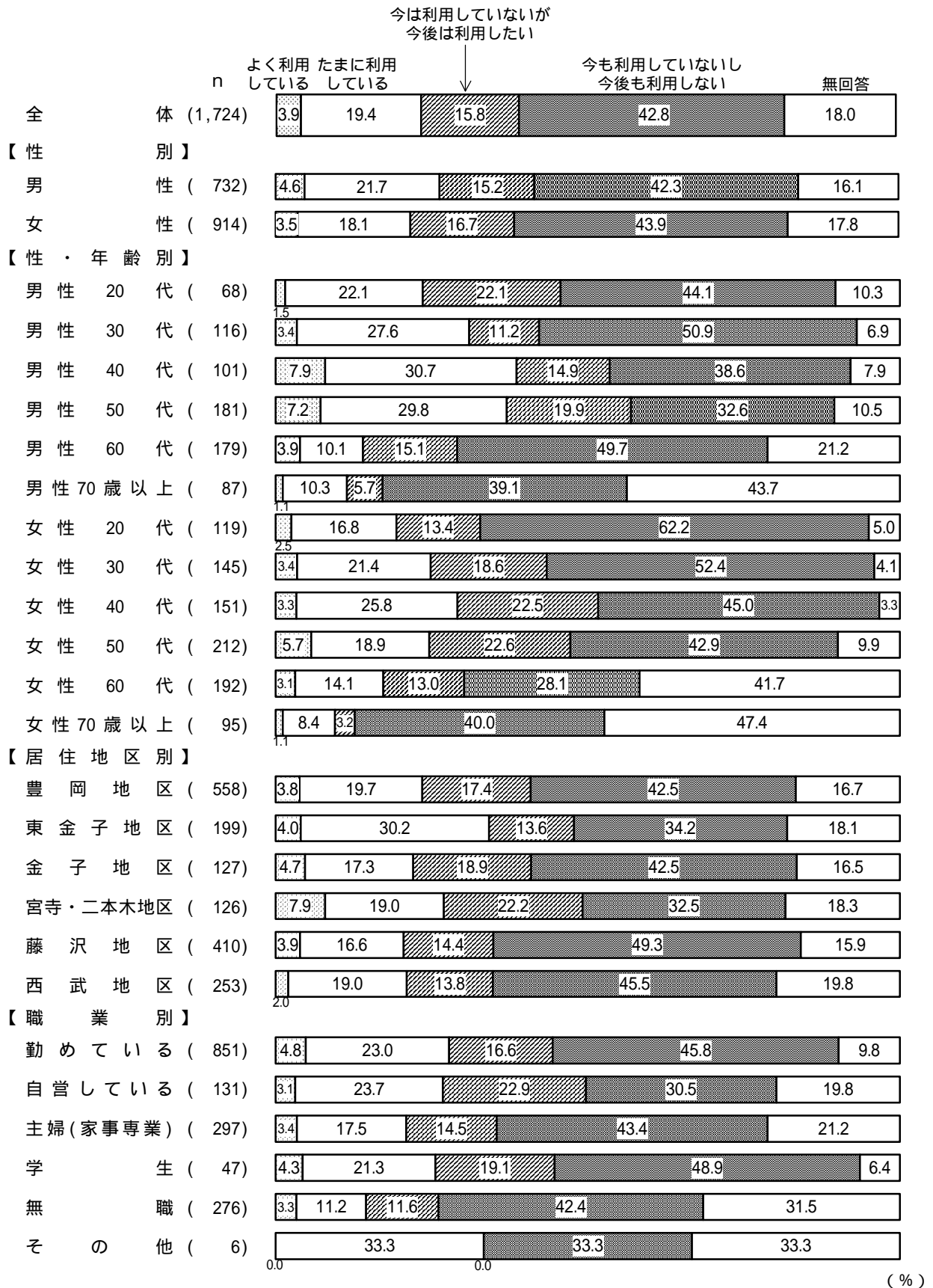
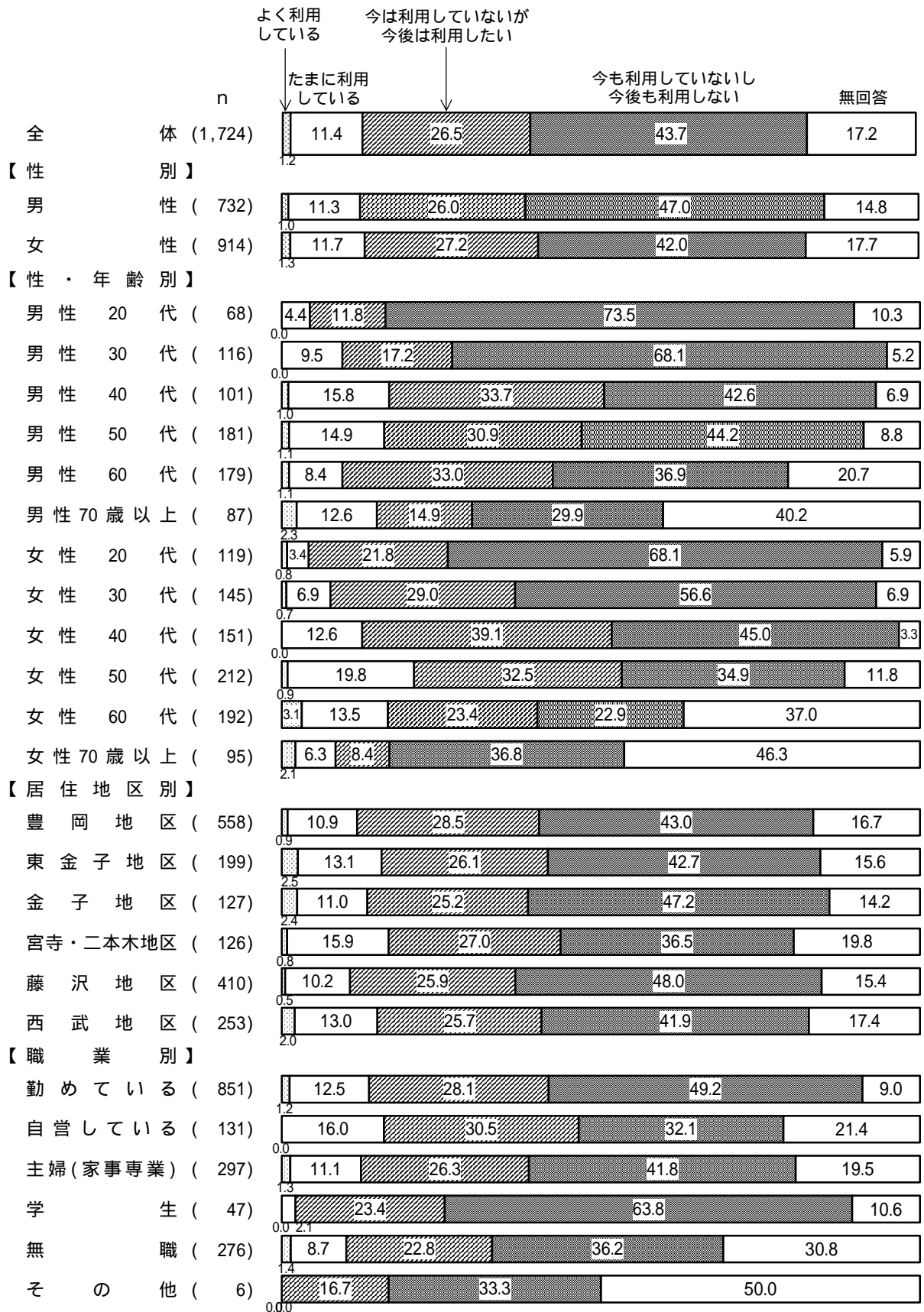


図7-1-7 情報機器やメディアの利用度(6)テレホンガイドいるま-属性別



(%)

図7-1-8 情報機器やメディアの利用度(7) 人間市ホームページ - 属性別

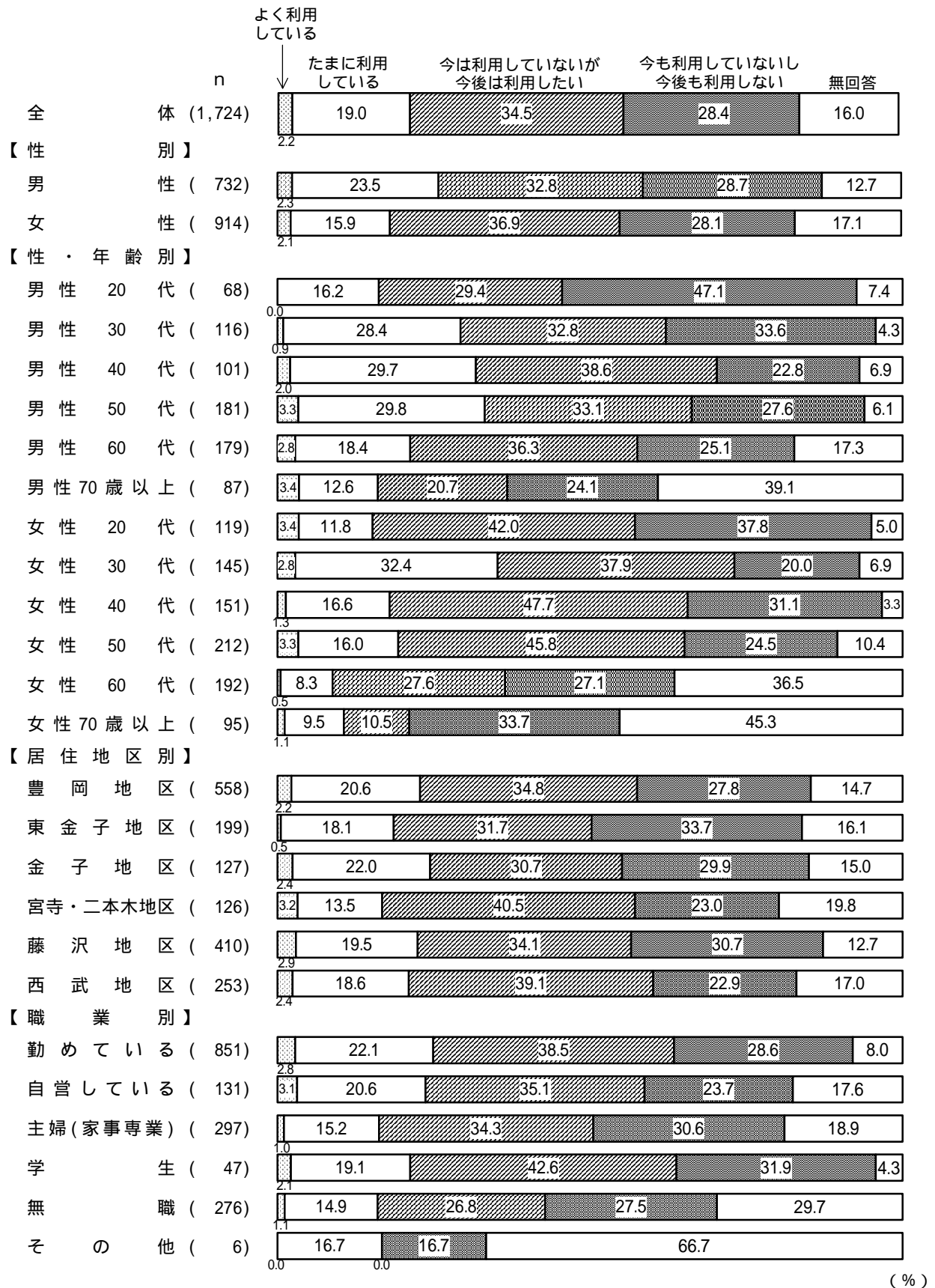
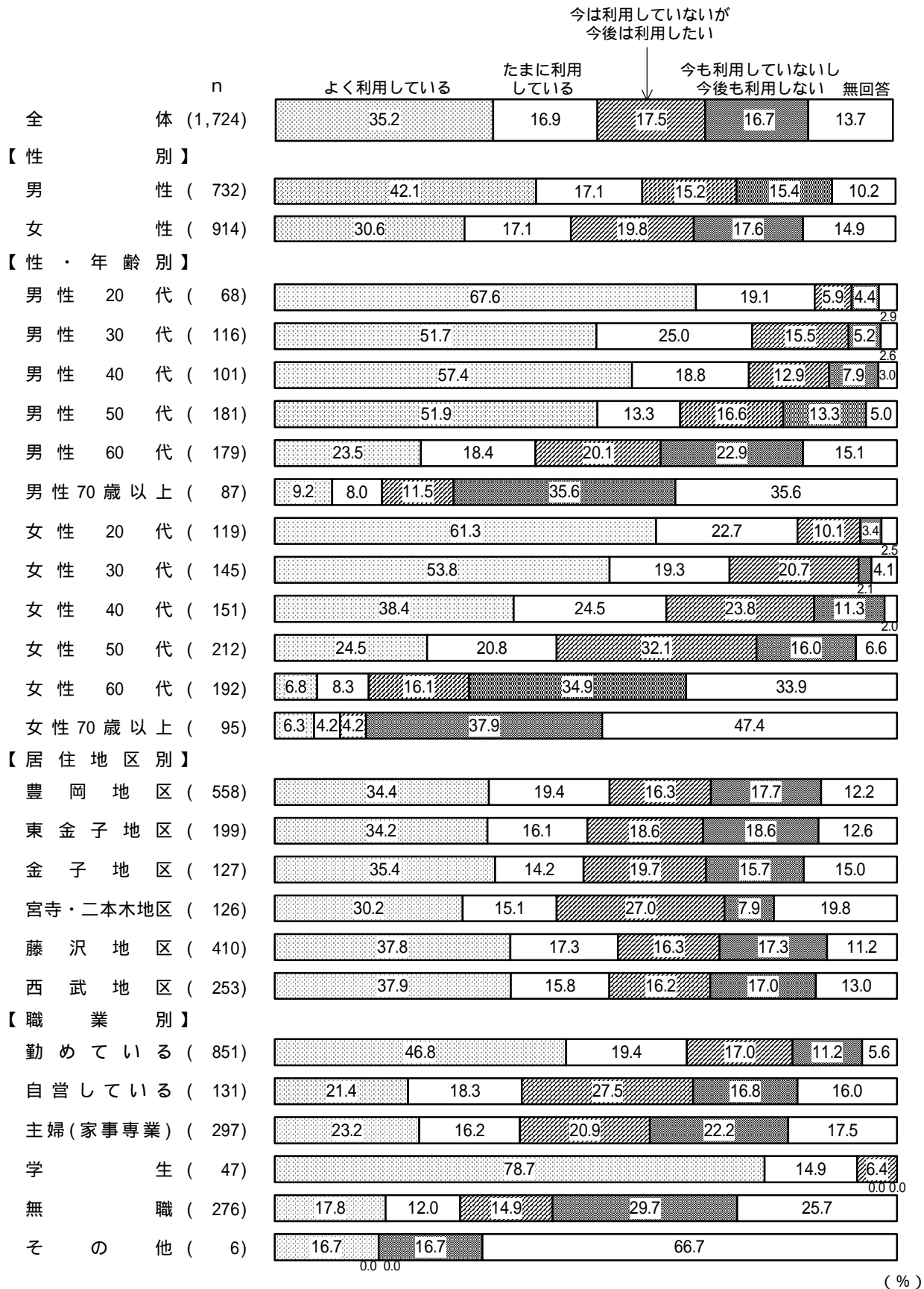


図7-1-9 情報機器やメディアの利用度(8) インターネット - 属性別



7 - 2 . 入間市のインターネットサービスで利用したい情報

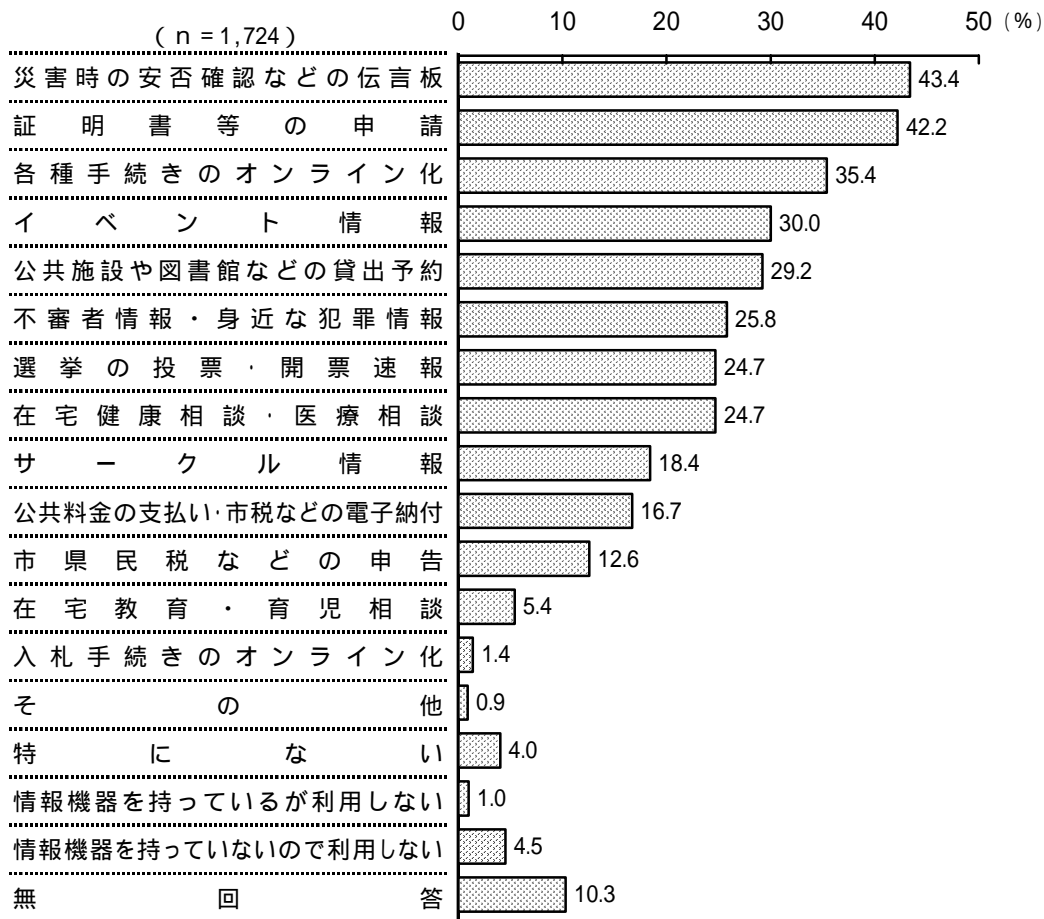
「災害時の安否確認などの伝言板」、「証明書等の申請」が4割を超える

問 19 - 1 市がインタ - ネットや携帯サイトでサービスを行う場合、どんな情報を利用したいと思いますか。次の項目から 5 つまで 選んでください。 (n = 1,724)

1 . 公共施設や図書館などの貸出予約	29.2%	10 . 災害時の安否確認などの伝言板	43.4
2 . 各種手続きのオンライン化	35.4	11 . 在宅健康相談・医療相談	24.7
3 . 証明書等の申請	42.2	12 . 在宅教育・育児相談	5.4
4 . 市県民税などの申告	12.6	13 . 不審者情報・身近な犯罪情報	25.8
5 . 公共料金の支払い・市税などの電子納付	16.7	14 . その他	0.9
6 . 選挙の投票・開票速報	24.7	15 . 特にない	4.0
7 . 入札手続きのオンライン化	1.4	16 . 情報機器を持っているが利用しない	1.0
8 . イベント情報	30.0	17 . 情報機器を持っていないので利用しない	4.5
9 . サークル情報	18.4	(無回答)	10.3

市がインターネットや携帯サイトでサービスを行う場合利用したい情報について聞いたところ、「災害時の安否確認などの伝言板」(43.4%)と「証明書等の申請」(42.2%)がともに4割を超えて多く、次いで「各種手続きのオンライン化」(35.4%)、「イベント情報」(30.0%)、「公共施設や図書館などの貸出予約」(29.2%)などの順となっている。(図7-2-1)

図 7 - 2 - 1 入間市のインターネットサービスで利用したい情報



属性分析（上位 10 項目）（図 7 - 2 - 2）

【性・年齢別】「証明書等の申請」は女性 20 代（59.7%）で 6 割を占めて多くなっている。「各種手続きのオンライン化」は男性 20 代（54.4%）で 5 割半ばを占めて多くなっている。「公共施設や図書館などの貸出予約」は男性 40 代と女性の 20 代から 40 代の年代で 4 割を超えている。60 代以上では、50 代以下の世代に比べて各項目とも低くなっているが、「在宅健康相談・医療相談」は、年代の高い方の中で比較的要望が高くなっている。

図 7 - 2 - 2 入間市のインターネットサービスで利用したい情報 - 属性別（上位 10 項目）

